
2019年3月期 第2四半期 決算説明会

2018年11月5日

 日立キャピタル株式会社

1. 2018年度の主な災害

2018年6月 大阪北部地震

2018年7月 平成30年7月豪雨

2018年9月 平成30年台風第21号

2018年9月 平成30年北海道胆振東部地震

被災された皆様に
心よりお見舞い申し上げます

2. 2018中計の位置づけ

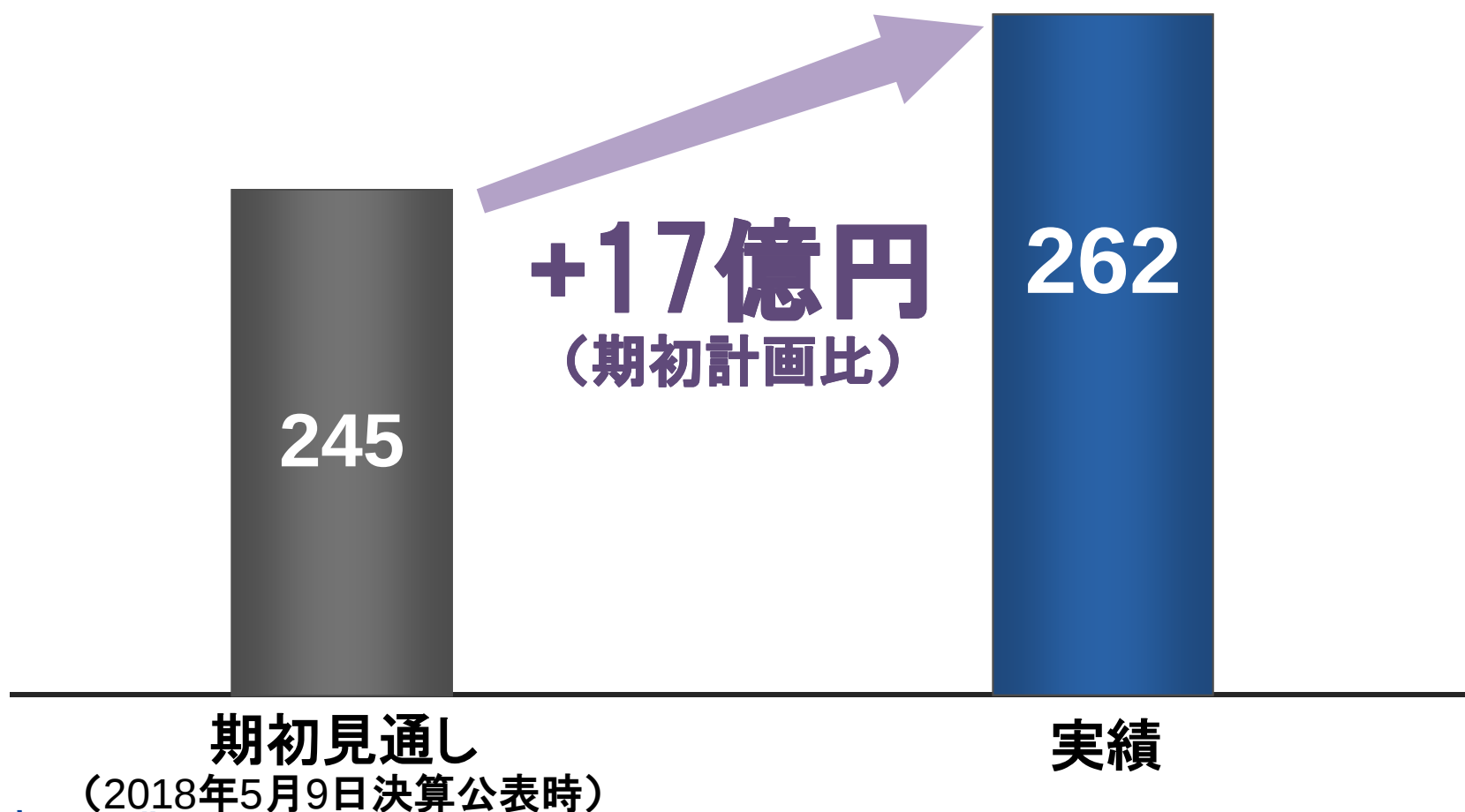
“変化”と“成長”



3. 2019年3月期 第2四半期の決算

上期は期初計画を上回る順調な進捗

(億円) 【税引前四半期利益(2018年度上期)】
最高益を更新

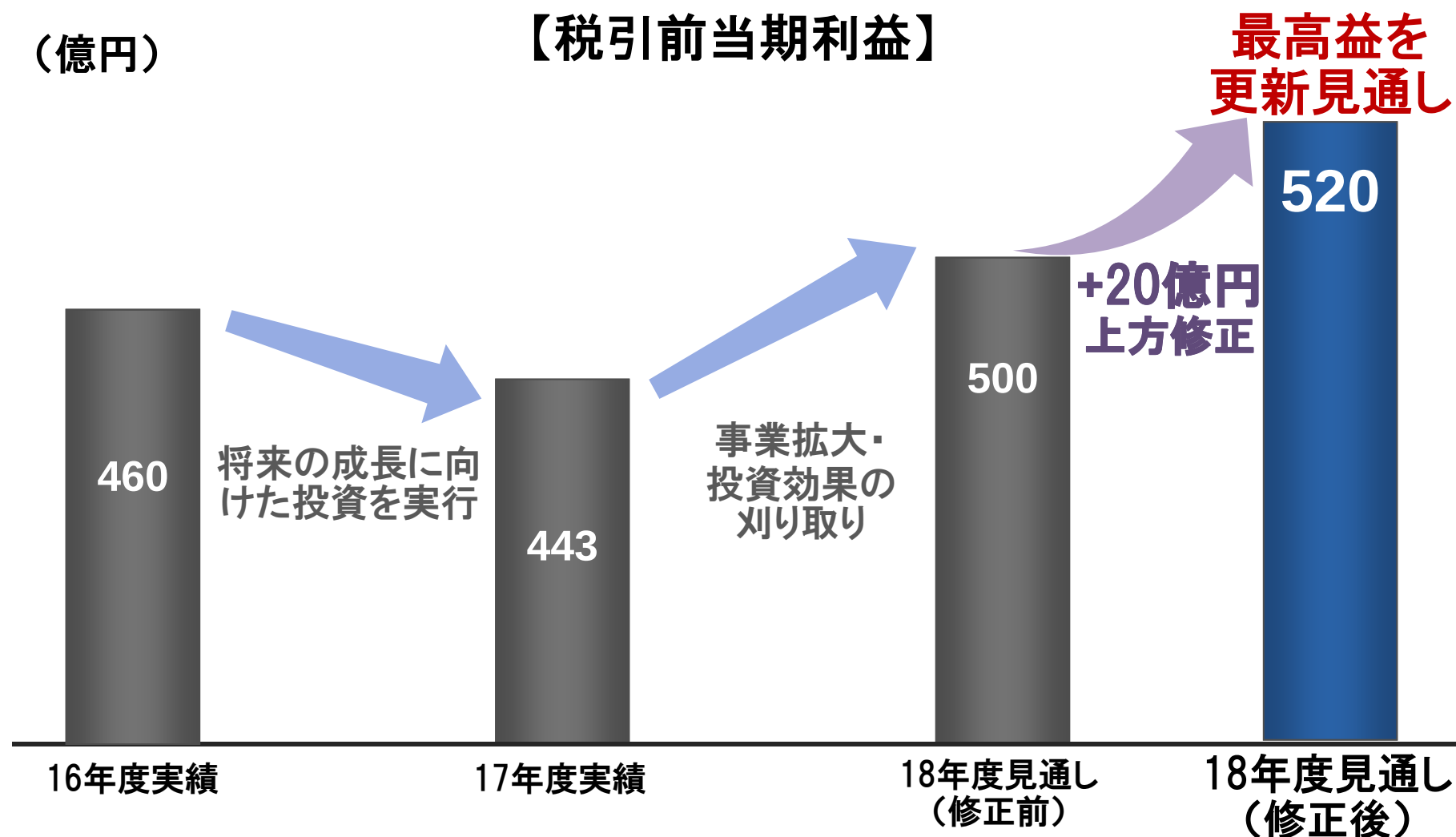


4-1. 2019年3月期 通期見通し

上期の進捗をふまえ、2018年度見通しを上方修正

(億円)

【税引前当期利益】



4-2. 2018中計ハイライト(見通し)

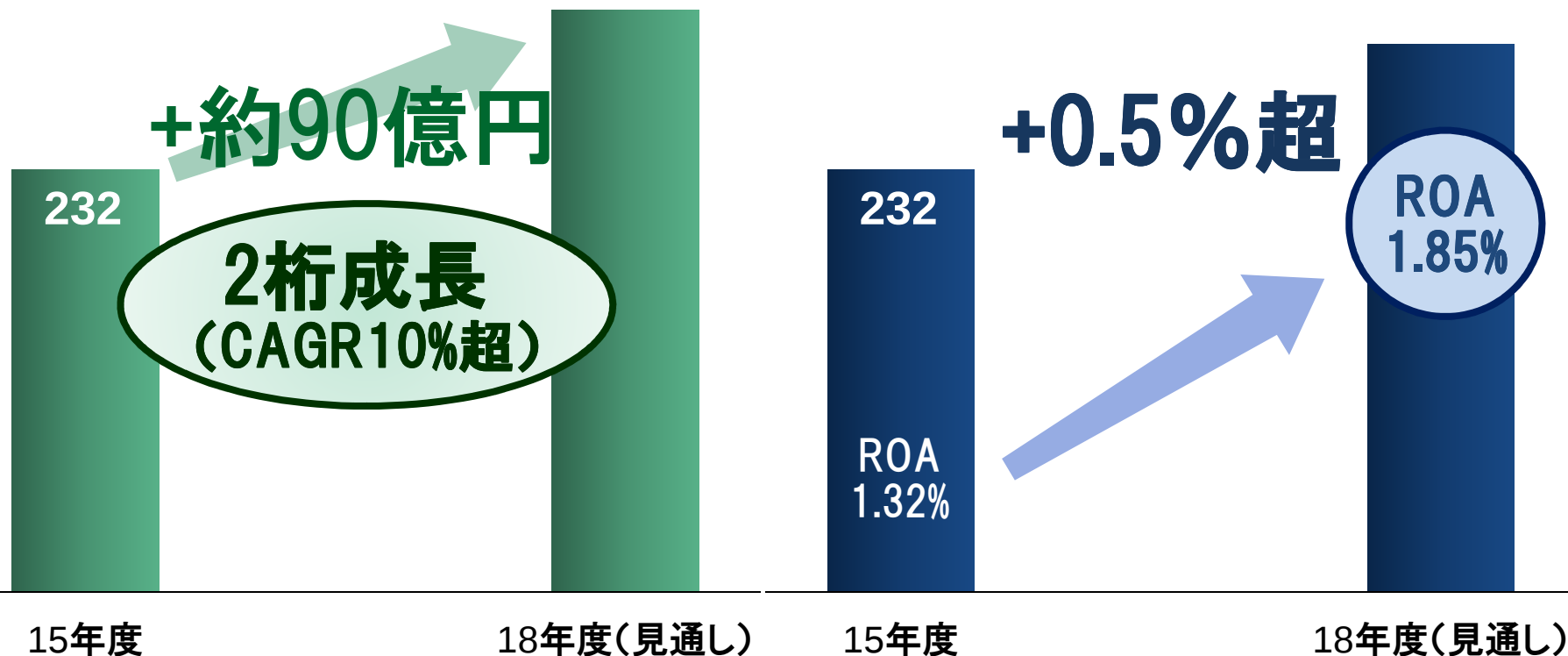
2018中計ハイライトは概ね順調に推移

(億円)

【税引前当期利益・ROA】

グローバル事業

日本事業

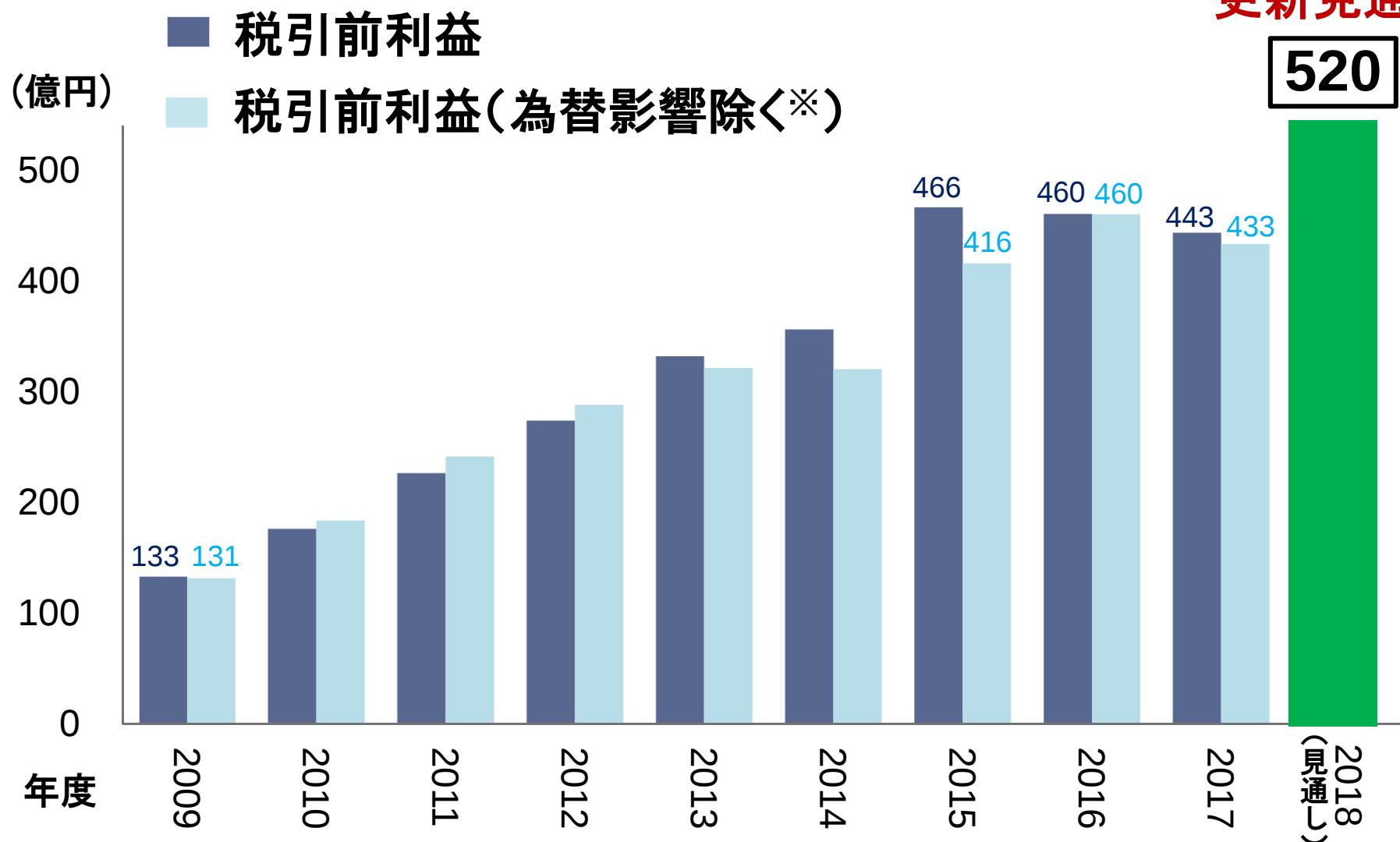


* グローバル事業・日本事業の税引前当期利益は調整額(全社費用等)を除く数値

* グローバル事業は為替影響を除く(15年度税引前利益は18年度の計画レートで計算)

4-3. これまでの税引前利益推移

最高益を
更新見通し



**配当性向3割を目処に実施予定
(過去最高益更新を考慮)**

日立キャピタル

<http://www.hitachi-capital.co.jp/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご認識いただき、資料をご活用ください。

補足資料

グローバル事業 :2桁成長を持続

「規律ある高い成長性を維持」

- 地域特性に応じたりスクコントロール
- ポートフォリオ分散による外部環境に左右されない体制構築
- 2018年度海外比率:6割(税引前当期利益)

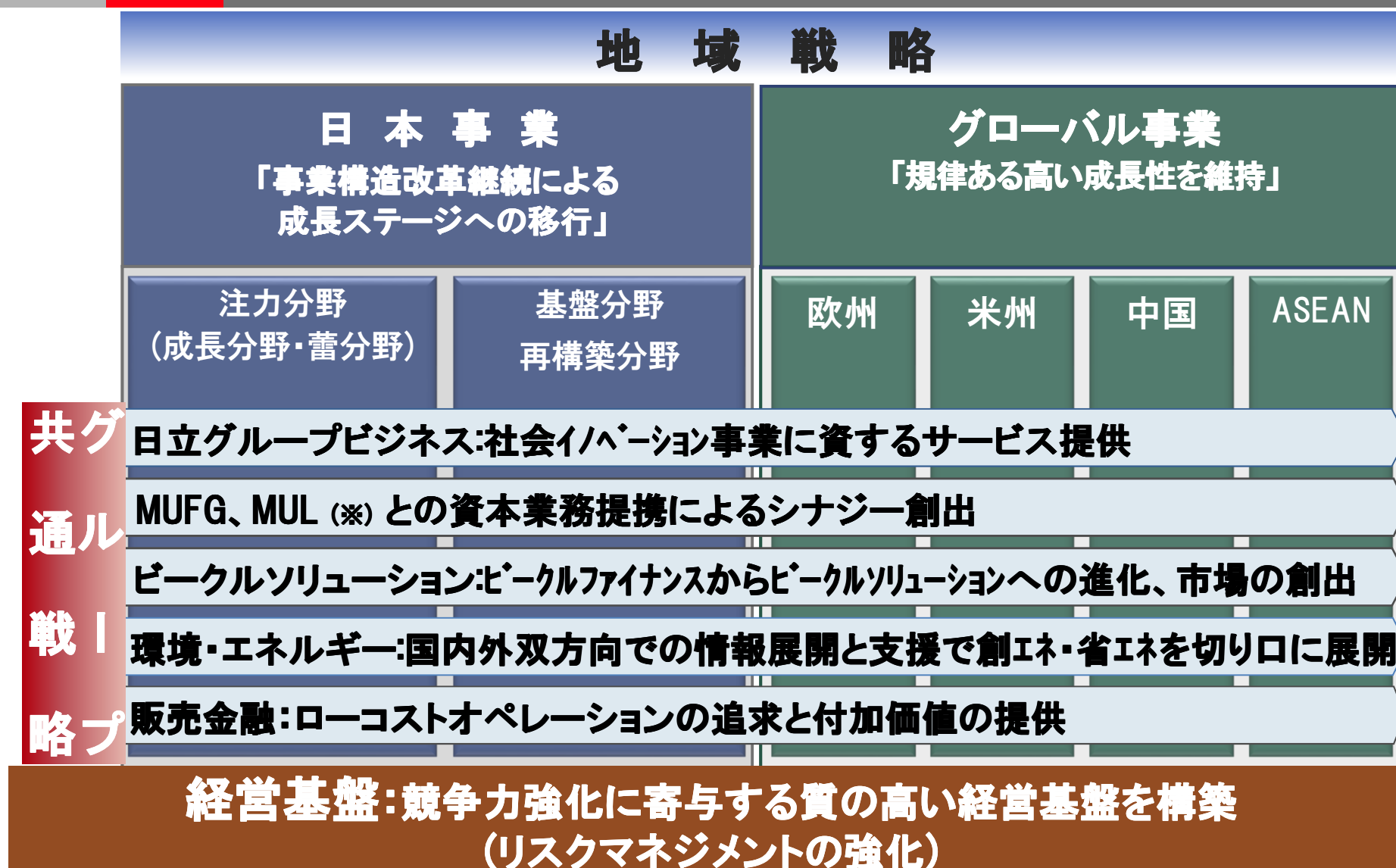
日本事業 :ROA2%チャレンジ

「事業構造改革継続による成長ステージへの移行」

- 注力分野の再設定による資産効率の向上
- 競争力強化に資するバックヤードの強化

積極的な投資 :高度人財・攻めのIT・ パートナー連携

- 事業成長を支える戦略的投資を実行
(事業パートナー、M&A、IT投資等)
⇒ M & A : 資産規模 3,000億円
I T 投資 : 200億円
人 財 投資 : 高度人財 200名増

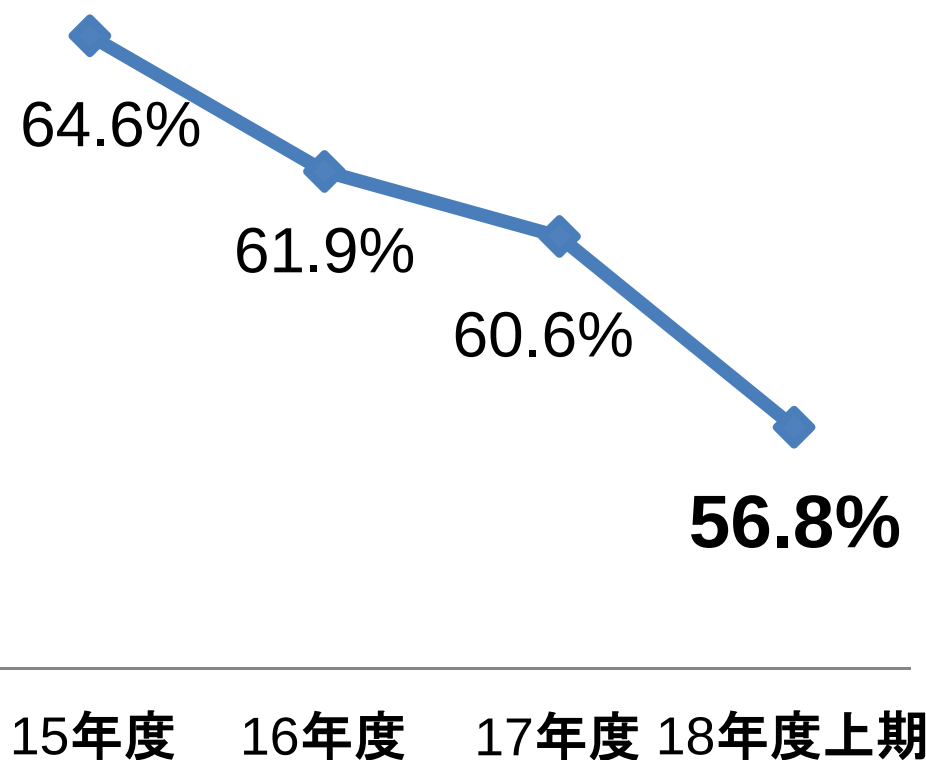
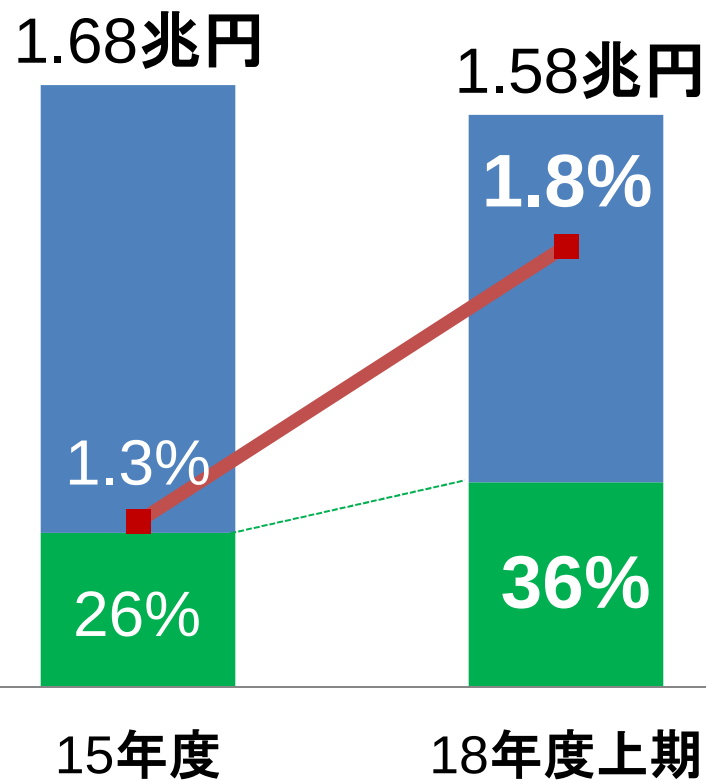


※MUFG:株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ MUL:三菱UFJリース株式会社

営業資産残高・ROA

OHR

■注力分野 ■他分野 ■ROA



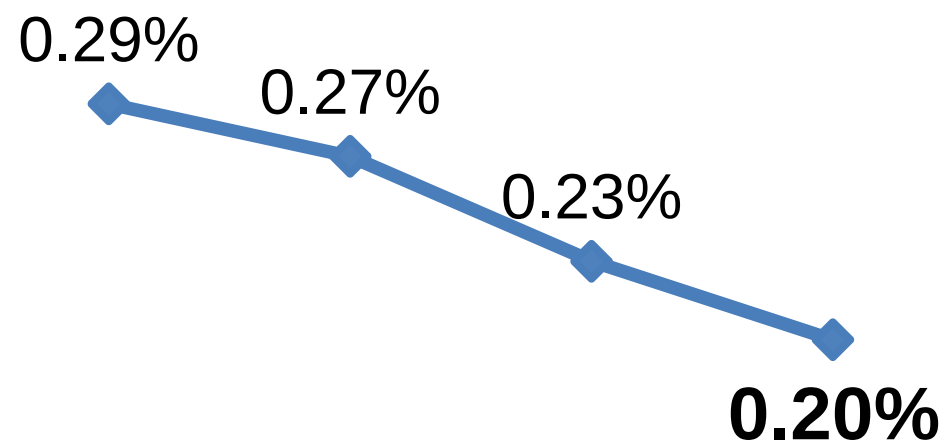
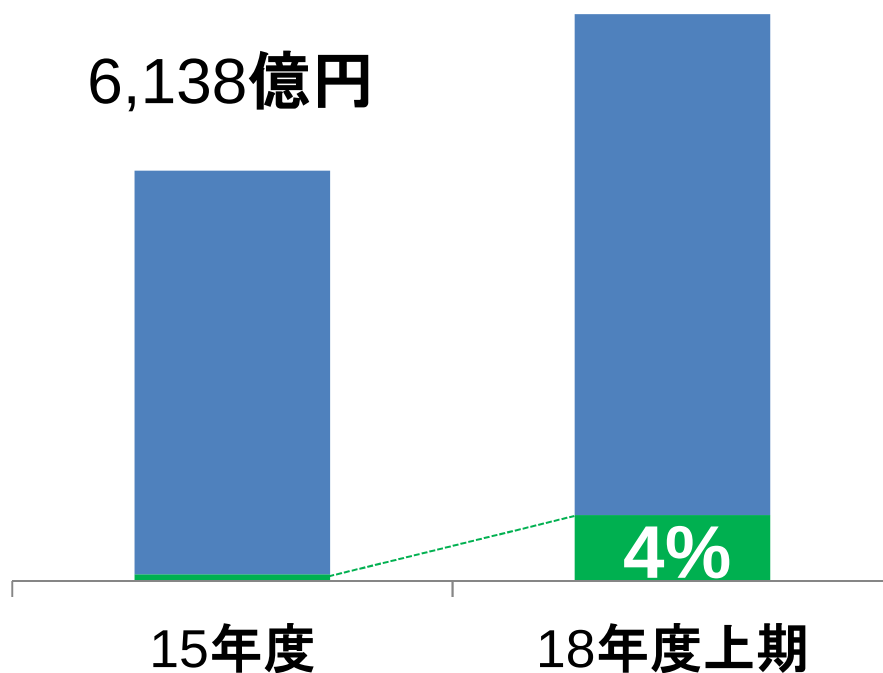
営業資産残高

貸倒率(英国事業)

■ 欧州大陸 ■ 英国

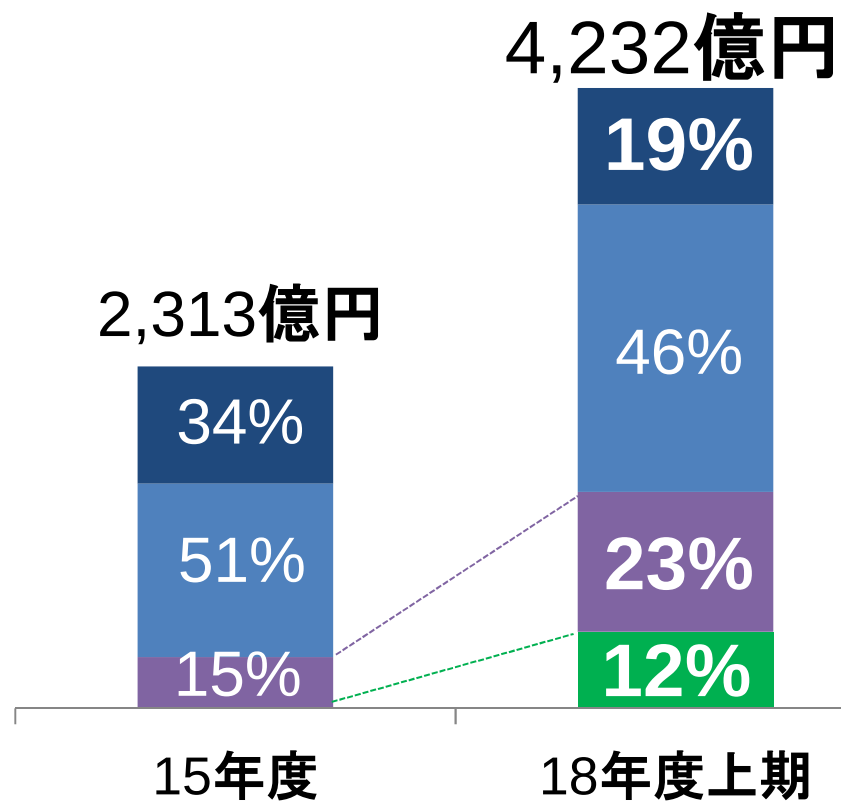
8,278億円

6,138億円

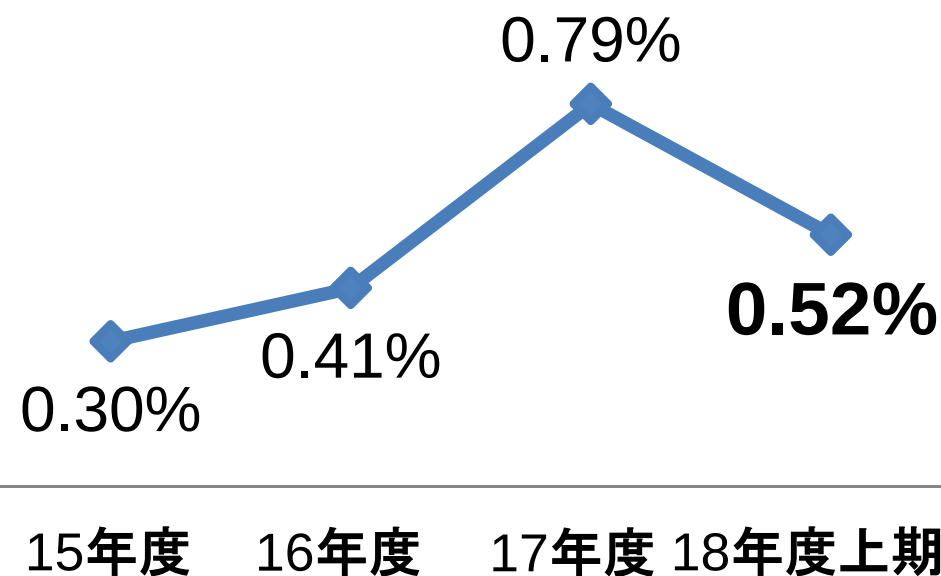


* 為替レートは各年度のレートで算出

営業資産残高



貸倒率

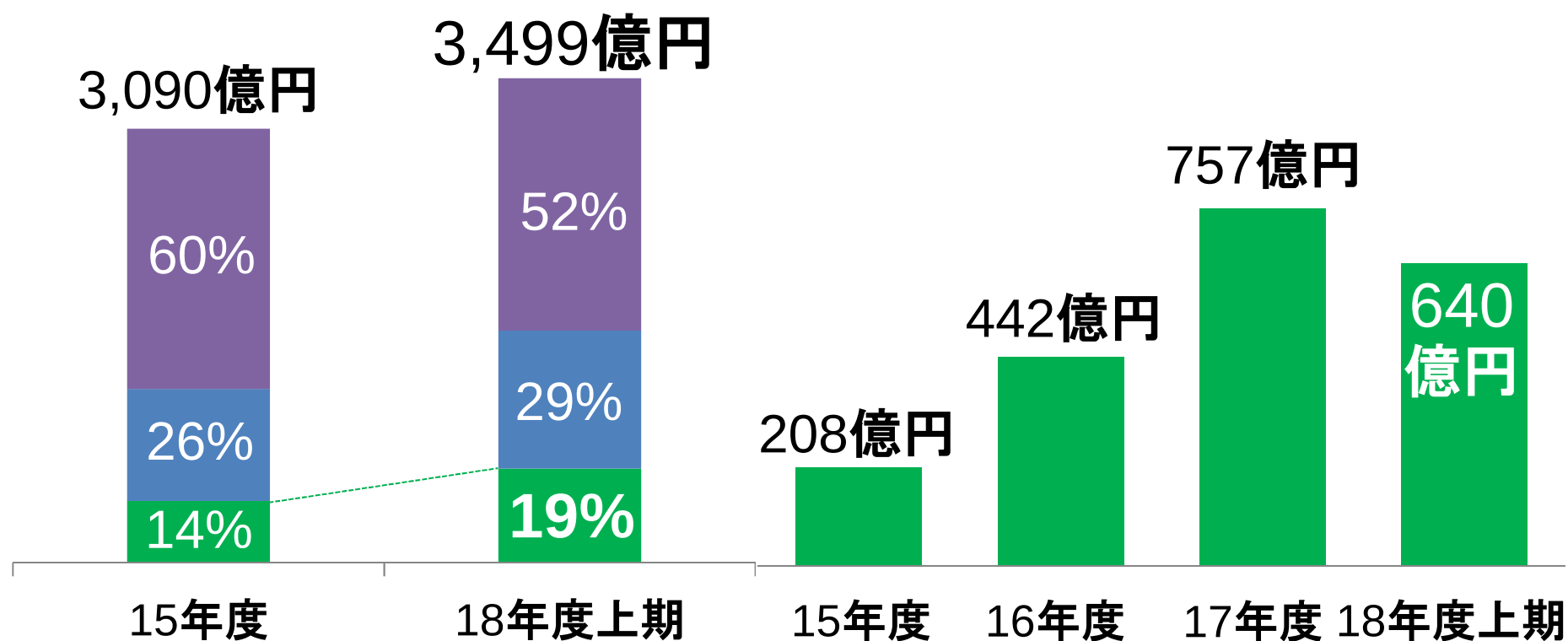


* 為替レートは各年度のレートで算出

営業資産残高

取扱高(中国本土 公共以外)

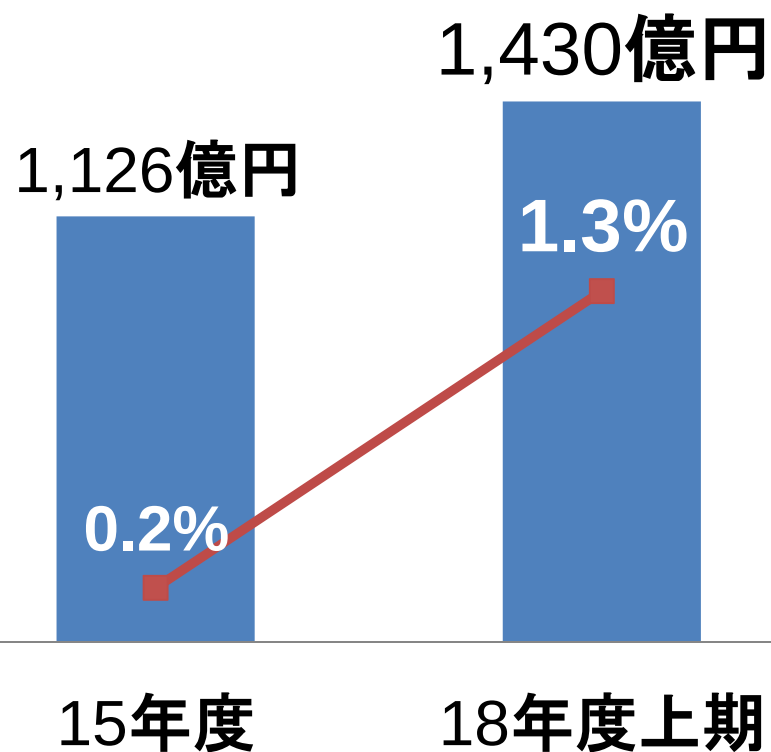
- 中国本土(公共以外) ■ 香港
- 中国本土(公共案件)



* 為替レートは各年度のレートで算出

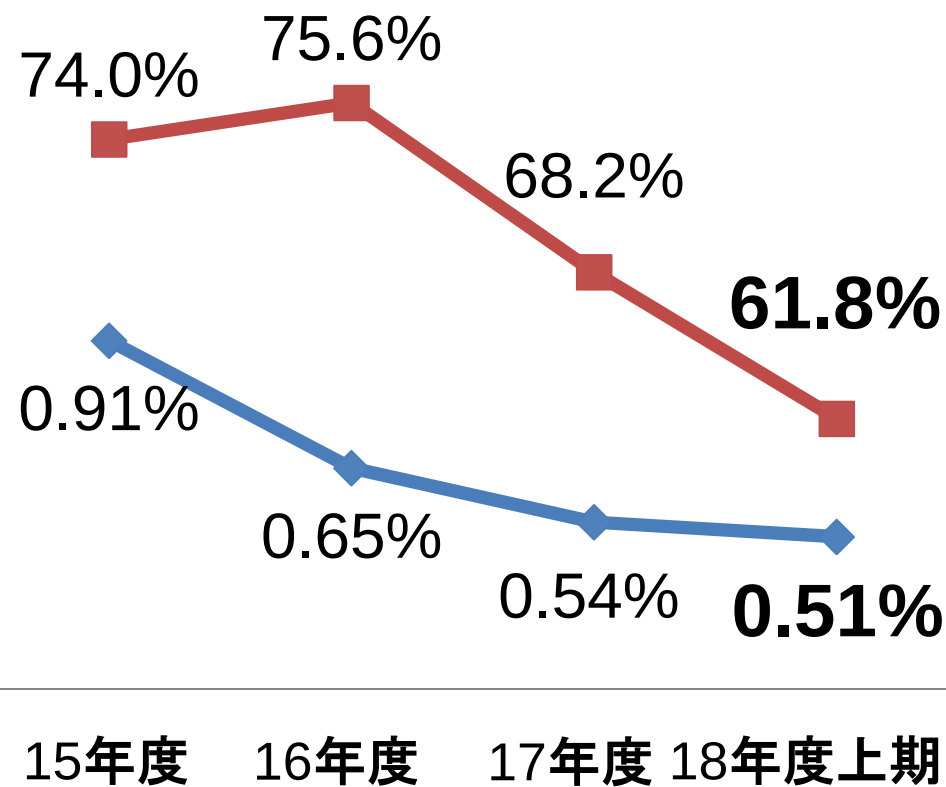
営業資産残高・ROA

■ 営業資産残高 ■ ROA



貸倒率・OHR

◆ 貸倒率 ■ OHR



日立連携(これまでの主なニュースリリース)

#	開示年月	内容
1	2018年10月	「第1回日中第三国市場協力フォーラム」において中国企業との協業に合意
2	2018年 9月	日立の人工知能「Hitachi AI Technology/H」を活用し小口融資審査効率を向上
3	2018年 4月	「物流トラック運行管理における疲労科学に基づく事故リスク評価予測手法の開発」に関する共同研究開始
4	2018年 3月	「金流×商流×物流×情流」の新たなイノベーション実現に向けた業務提携に関する基本合意
5	2017年 6月	顔認証を搭載した新型の呼気アルコール検知器で実証実験を開始
6	2017年 3月	エネシード北九州風力発電所向け日立2MW風力発電システム2基が竣工
7	2016年11月	自己託送制度を活用し、拠点間の電力融通を可能にするESCO事業を日本キャンパック4工場で実施
8	2016年10月	「健康経営支援ソリューション」を提供開始
9	2016年 4月	岡山県新見市に36MWメガソーラー発電システムを建設

川の成果として、これまで3件の案件が成約

英国鉄道インフラ事業への投資

St Pancras
International
Station



Domestic
Route



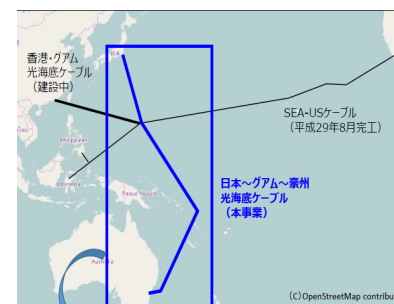
投資先	ロンドンと英仏海峡トンネル間の線路109kmと駅舎4駅の運営を行うコンセッション会社
J I I 投資額	75百万ポンド (約105億円※1ポンド140円換算)
時 期	2017年9月に実施

業界内でのプレゼンス向上、
日立社会イノベーション事業の側面支援

* MUFG:株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ MUL:三菱UFJリース株式会社
日立キャピタル JII:ジャパン・インフラストラクチャー・イニシアティブ株式会社

光海底ケーブル事業への投資

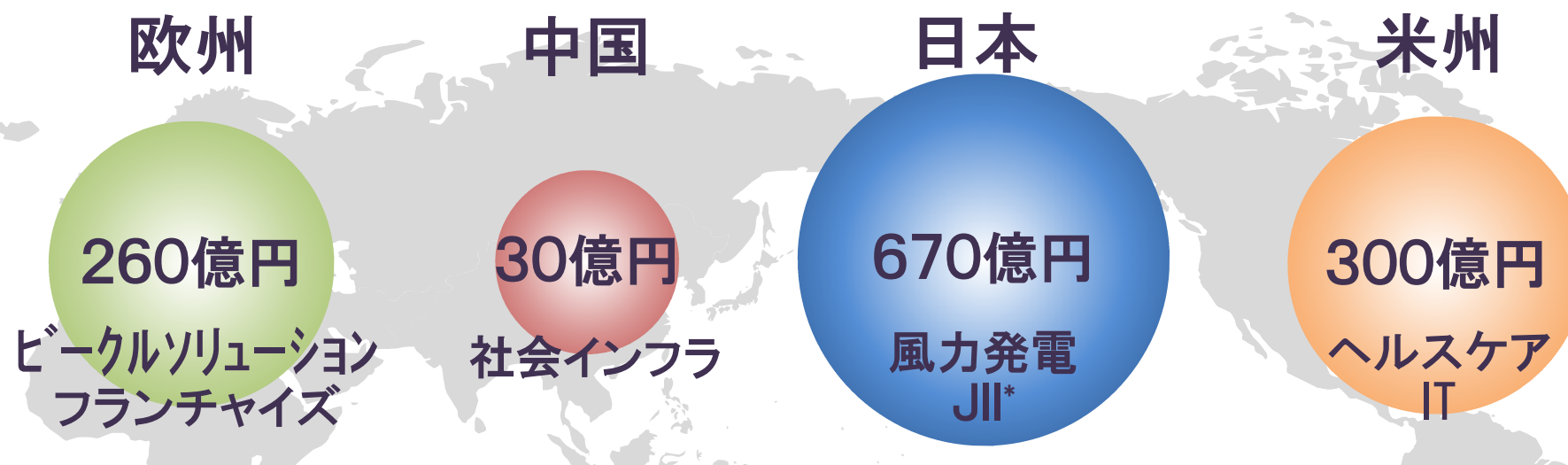
アジア太平洋エリアの
国際間通信を担う事業



投資先	日本・グアム・豪州間に約9,500kmの光海底ケーブルを敷設し、通信回線使用権の販売・リース等を展開
J I I 投資額	20百万米ドル (約22億円※1米ドル110円換算)
時 期	2018年3月より実施

日本企業のインフラ事業展開を積極的に支援

2018中計において、約1,260億円の投資を実行



成長加速に向けた重点投資分野

ビークルソリューション



環境・エネルギー



円グラフ: 金額規模
日立キャピタル

* JII: ジャパン・インフラストラクチャー・イニシアティブ株式会社
* 金額は投資実行時における為替レートで算出